

令和3年度 熊西中学校便り

熊中だより

学力特集号

令和3年11月16日
北九州市立熊西中学校

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

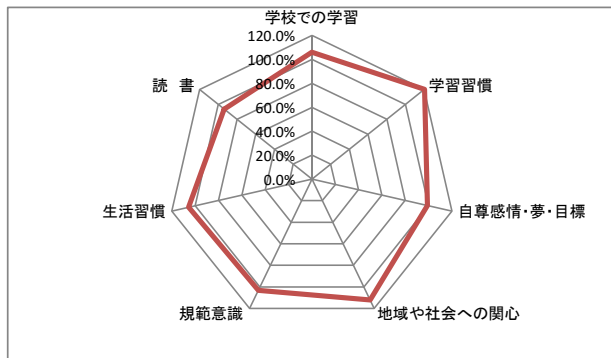
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	どの領域においても、全て全国平均正答率を上回っている。特に「読むこと」についての正答率が高く、日々の朝の読書活動や、読書週間などの取組の成果が発揮されていると推察できる。	上回っている。
数学	「数と式」の領域においては、全国平均正答率を上回っている。その他の「図形」、「関数」の領域については、全国平均とほぼ同じであるが、「資料の活用」においてはわずかに下回っている。	上回っている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・学習習慣については、自分自身で計画を立てて勉強する生徒が多く、十分身につけていると考察される。
・スマホ・携帯電話の所持率が増加したが、「携帯・スマホ電源10時OFF」の取組により、時間やルールを守って使用できている生徒の割合は高い。
・将来の夢や希望をもっている生徒は全国平均よりも多い。自尊感情については、ほぼ全国平均並みの状態にある。
・読書については、毎日の朝自習で取り組んだり、校内の読書週間での特設の取組もあり、十分な成果をあげている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・朝自習は毎日「読書」を行っている。
- ・希望生徒を対象として、「ひまわり学習塾」を週に2回実施し、基礎学力の定着を図っていく。
- ・調査前には、毎回「放課後教室」を実施して、学力補充に努めている。
- ・学校図書館の整備、朝読書の推進、各教科による図書館の活用等を積極的に行い、読書活動を推進することで、言語感覚を豊かにするとともに、読みとる力・言葉の力を育てていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・各教科において、ICT、タブレット端末を活用して、宿題や課題の提出を徹底するなど教科担任と学級担任が連携し、基礎学力の向上と家庭学習の定着を図る。
- ・調査前に家庭学習計画を作成し、毎日学級担任が確認し、必要な指導を行う。
- ・学校便りや学校HPを通して、調査の結果・分析をお伝えするとともに、保護者会・懇談会等において現状や傾向を説明し、家庭との協力体制を構築していく。
- ・今年度は学力向上の部活を立ち上げ、「自学自習」の部会で、家庭学習について取組を進めている。